

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第30号 平成27年12月 5日

初回1失点に抑えた祐介の補殺！

序盤の制球難が勝利を逃す！

	1	2	3	4	5	6	7		R
G	0	0	0	0	0	2	3		5
C	1	0	0	2	2	0	0		5



借金を後一つとした本日のカードは、初対戦となるクセイダース、久々の先攻でゲームは幕を開けた。初回は3番哲也が内野安打で出塁するも後続続かず0点発進。その裏、マウンドに上がったのは祐太郎、最近制球に難が有る彼だけに、今日のピッチングが気になった。しかし、その制球難が早くも顔を出す事となる。先頭に死球で出塁、次打者にも四球、更には次打者の時にWPで無死一・三塁となった。が3番を捕飛に斬り一死とすると、4番を左飛にそして、この打球を捕球した祐介がホームにジャストな早急を見せ、WPでの1失点のみに抑えた。2回、3回は共に走者を出すも、共に後続が続かず0点行進。しかし、4回にゲームが動いた。この回先頭に四球で出塁、そして4番に右中間2ベースを打たれ、一塁走者が生還し2失点目。そして次打者にも四球、後続を中飛に斬るも、後続2打者連続で四球で押し出しで3点目、この後、投飛に斬るも3点を追いかける展開となった。更に5回に英がマウンドに上がるも、四球と長短打で1点追加される。が、やっと翌6回に我がチームの打線に動きが出た。この回先頭は捕飛で一死となったが、3番哲也が四球を選択、4番祐太郎が安打で続く。次打者は内野ゴロで走者を進めるも二死二・三塁となる。が、ここから流れがチームに。6番山林の打球を野手が処理出来ず。この間に哲也が生還し1点。更には、シローの打球がショートグラブ下を通過し、祐太郎が生還し2点目。最終回の攻撃では、祐介が三失で出塁、2番智も右前に運ぶ、3番は倒れるも、4番祐太郎が三遊間を抜き、祐介が生還し3点目。更に5番英が安打で続き、6番山林の打球がこれまた野手の失策を呼び、ついに同点と、追いついた。しかし、逆転の場面であったが、後続2打者が倒れこの回、同点止まりとなった。時間的に8回への突入が難しい中、勝ちは無くなったが、最悪の敗戦は避けたい。この場面での政司、ここは譲らずかつちり3人に抑え、このゲームを引き分けとした。今日を振り返ると、5回までの出塁は全て二死からの出塁で有った事が、打線の策を作れなかった。また、守備においては、無失策であったが、投手がゲームを作れなかったのが、やはり痛い。相手失策は計7つも飛び出したので、打者も打席で工夫し、出塁しなければ、相手の弱みに付け込む勝利方法は無いだろう。いよいよ次節は、最終節、更にはPIOLAXとの対抗戦だけに、3連敗を避け、一つでも多くの勝利をゲットしたいものである。